



四小だより

いちょう

平成26年 7月25日号

山形市立第四小学校
校長 坂本 澄子

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

<児童数 190名>

夏休みは成長のチャンス！

早いもので、今日で1学期が終わりました。この1学期、子どもたちは「よりよい自分への更新」をめざして意欲的に取り組んできました。その意欲が成長につながったと実感しています。

今日の終業式では、4月の始業式で話した二つの目標「さわやかな挨拶が響き合う学校にする」「一人ひとりがなりたい自分をめざして努力する」をふり振り返りながら、各学年の成長の姿を話し、子どもとともに確認したところです。

さて、明日から32日間という長い夏休みに入ります。夏休みは子どもたちを家庭にお返しする期間です。長期休業でしか経験できないこと、例えば、家族で一緒にものづくりをするとか、本をたくさん読むなど、ふだんできない体験活動も考えてみてはいかがでしょうか。夏休みは子どもにとって大きく成長するチャンスです。ぜひ、いろんなことにチャレンジさせてほしいです。そして、身体も心も頭もたくましく育てていただきますようよろしくお願いいたします。子どもたちにとって、事故やけがのない充実した夏休みになるように願っています。



つくったメロディーに合わせて歌うよ！



「いっぱい、しっぽをとるぞ！」



「この植物はどこかな？」グリーン
グリーン委員会主催の植物探し



「好きな食べ物はななに？」
1・5年一緒に



次はうまく火がつきますように・・・

四小のハーモニーを響かせて ～声楽部 激励会～



声楽部はこれまで、8月10日のNHK 合唱コンクールを第一の目標として練習に励んできました。週2回という限られた時間の中で、課題を明確にして取り組んできた成果を、今日全校生の前で披露してくれました。21人の心をつなげて創り上げた自由曲「ぼくのくすの木」が会場全体に響き渡ると、その美しさに引き込まれ素敵なひとときになりました。大会当日まで練習を重ねてさらに精度を上げ、四小の美しいハーモニーを会場いっぱい響かせてほしいと願っています。

**8月27日、真っ黒に日焼けした子どもたちに会うのを
楽しみにしています。チャレンジの夏休みに！**

＜第1学期終業式 校長あいさつ＞より

進級の喜びが意欲に 意欲が大きな成長に！

この一学期を、始業式で校長先生が皆さんにお話した二つのことから振り返ってみました。

一つめは、「さわやかな挨拶が響き合う学校にする」ということです。先日、学校を見守ってくださる地域の方々が学校にいらした時、皆さんがいつも挨拶を爽やかに返してくれてとても気持ちがいいと言っておられました。校長先生もとても嬉しくなりました。今の自分の挨拶はどうでしょう？自分から進んで誰にでも爽やかな挨拶ができていますか。私の大好きな『ありがとう』（莊司武）と言う詩があります。『ありがとう、ありがとう、言えばとってもいい気持ち。言われりゃもっといい気持ち、ありがとう、ありがとう』。挨拶はこの「ありがとう」と似ていて「言えばとってもいい気持ち。言われりゃもっといい気持ち」になります。まず、今の自分の挨拶の仕方を振り返り、できるところからやっていきましょう。

二つめは、一人ひとりが「なりたい自分」をめざして努力するということです。皆さんは、この一学期、勉強や運動、学年での体験活動やクルーズ班での活動などで、目標をもち、その実現に向けて頑張ってきました。今日は、各学年の具体的な成長の姿をお話します。

たんぽぽ学年は、毎日自分で登下校ができるようになり、たくましくなりました。先生や友だちの話をしっかり聞く力や自分の思ったことをみんなの前で話す力もついてきました。クルーズ班清掃も、お兄さんやお姉さんからほうきの使い方や床のふき方などを教えてもらい、上手になってきました。できるようになったことが増えましたね。いちよう兄弟体験学習は初めてですが、1年生ができることを見つけてやりましょう。

つばさ学年は、1年生のことを考えてやさしく教えたり、声がけしたりする姿がたくさん見られました。また、クラスで問題が起きた時も自分たちで話し合っ解決できるようになりました。地区探検では、安全に学習できるように、約束を決めて地域に出かけ、たくさん質問をし、まとめることができました。とてもたのしい2年生になってきたと思います。

きらめき学年は、二つのクラスが一緒になり人数が増えましたが、友だちや先生と積極的に関わり、よりよい学級のつながりができてきました。学級の問題を自分事としてとらえ、よりよくしようと話し合いを重ねてきました。進級の喜びが意欲となり、のびのびタイムやさわやかタイム、いきいきタイムでの遊びやチャレンジなど、活動の広がりとなって現れています。その意欲は日々の学習や生活にもつながっています。意欲を持ち続けてほしいです。

ハート学年は、上学年としての意識が芽生え、いちよう運動会での係の仕事への取り組みは、責任をもって自主的にやり通す姿が見られました。また、自然体験学習では、4本のマッチで火をおこす難しさを体験し、苦労しながらもカレーを作って1年生に食べさせることができました。学校の生活では体験できない力を身につけ、たくましさを感じています。それは、持久走の取り組みにも表れています。秋の持久走に向けてさらに記録更新を目指して頑張ってください。

きぼう学年、新しい仲間や先生と、高学年としての自覚をもちながら、よりよい自分をめざして努力しました。特に自然体験学習では、一人一人が責任を持って動くことや仲間と協力することなどを目標にし、三日間で計画したすべての活動を実施することができたのは大きな自信と成長につながりました。クルーズ班活動や委員会では、6年生の背中を見て自分のやるべきことを考えて行動する姿が見られます。常に、6年生を支え、下学年の手本となって動くことができるのは、既に学校のリーダーとしての動きだと嬉しく思っています。

スマイル学年は、34人が仲が良く、一人ひとりが自分のやるべき事を考え、丁寧に一所懸命働くその姿は学校のリーダーとして頼もしさを感じています。それが日常の姿であり、特別なことでないところが四小のよさだと思っています。クルーズ班活動や委員会などでも、常に課題意識を持ち、その役目をしっかり果たそうと努力しました。それが、いちよう運動会で「本気で向かう姿」として私たちに感動を与えてくれました。これからも、スマイル学年が人と人とをつないで、「やさしさいっぱい四小」を創ってほしいと願っています。

明日から、32日間の夏休みに入ります。この長い休みにしかできないこと、たとえば、読みたかった本をじっくり読むとか、家族と一緒に作品をつくるとか、知りたいことを実際にそこに出かけて調査するなど・・・チャレンジする夏休みにしてほしいです。8月27日、真っ黒に日焼けして、一回りたくましくなった皆さんに会うことを楽しみにしています。